



千一ム



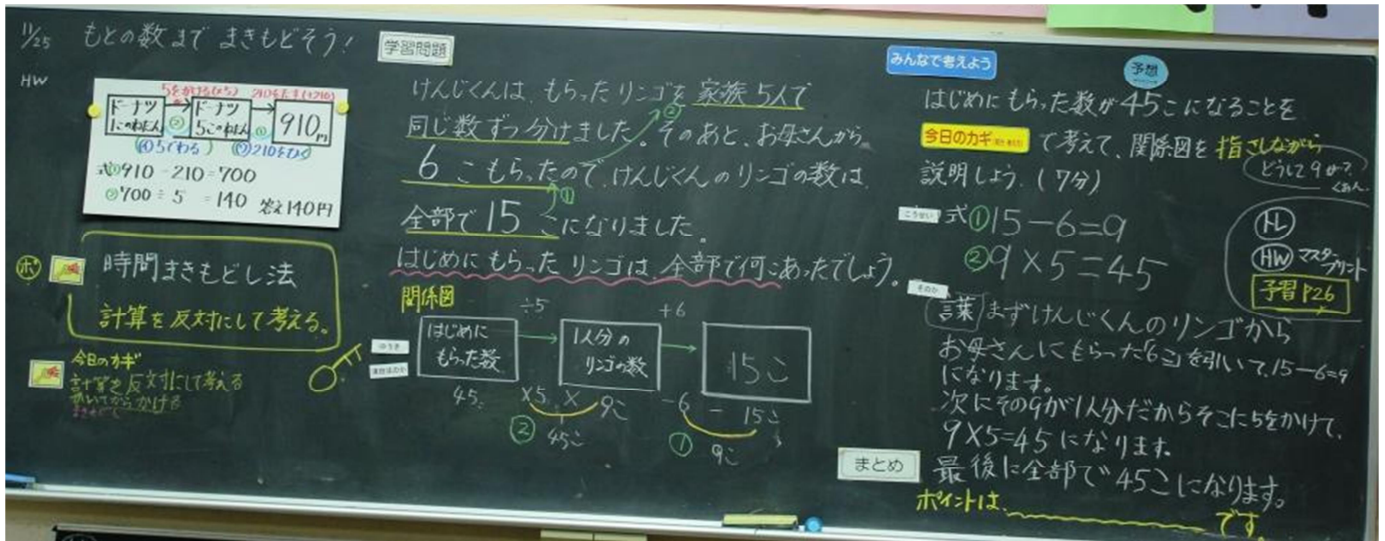
How wonderful living together! ~生きてるってすばらしい!~

みんなで説明する「協働算数」を目指して

～お互いの考え方を受け止めながら「相手になって説明」算数の学習～

今朝は、週末の地震について子どもたちと話し合いました。朝日新聞の記事を読み合いながら地震が起きたときの避難についてのポイントを考えました。新聞記事を家庭に持ち帰りお家の人と話し合ってみようと呼びかけました。家族防災会議のきっかけにご活用ください。

さて、算数では答えに至るまでの過程（考え方）について説明しながら意味を理解していく学習に取り組んでいます。今日は、文章題から聞かれていることや計算の手がかりになることを、アンダーラインを引いて解決の過程について話し合いました。



「え？意味がわからない。」「どうして『9』になるの？」と子どもたち。とてもするどい反応です。逆思考を2回働かせて「もとの数」に迫る問題ですので文章からその状況を「順にもどして考える」ことがポイントになります。解決への手助けとなるのが、数量の関係を表した「関係図」です。今日の学習では、関係図を指さしながら、「時間を巻き戻して考えた」ことを説明する算数的活動に取り組みました。

本日の家庭学習でも、「関係図」に状況を表して、「時間を巻き戻して（順に戻して）考える」という数学的な考え方（ポイント）を使って、取り組んでいきましょう。